

暑中お見舞い申し上げます



口臭をシャットアウトできる治療薬の開発を

医科の手術に必要な血液の不足にテルモでは人工血液の開発に成功しています。また全身のガンが瞬時に診断できる器械も開発され、胃ガンなどは切開手術しなくても治療できる器具も登場しています。

ある家電メーカーでは美しいバラの花・食欲を誘うカレーライス・切り立てのオレンジ等テレビに写る物の香り・匂いを電波を通じて発生する物の開発に取り組んでいるとのことです。

世の中はここまで進んでいますので、一時凌ぎの洗口液が年間百数十億円も消費されています現実から社会は口の臭い口臭を大変気にしている訳で歯科医院で数回受診すれば2～3年位は口臭をシャットアウトできる治療薬が開発されてもいいのではないのでしょうか。

2006年 盛夏

日常臨床における適切で安全な最小限の治療とは何か？

—適切な診断とコンポジットレジン修復—



西川 義昌 先生

Nishikawa Yoshiaki

●プロフィール

1949年大阪生まれ
1974年大阪歯科大学卒業
1975年原宿デンタルオフィス勤務（東京都）
1995年鹿児島中央診療所勤務（鹿児島県）
2000年現診療所を開設（東京都渋谷区）
現在NMG代表、東京S.J.C.D.会員
日本臨床歯科補綴学会研修セミナーインストラクター

●はじめに

2004年3月に中央歯科産業講演会でお話しさせていただきましたが、それから早くも2年あまりが過ぎようとしています。今回、再び名古屋にてお話しさせていただく機会をいただきましたので、さらに具体的に踏み込んだ診療についてお話しさせていただきたいと思っております。

●前回のまとめ

まずは前回お話しした内容をざっと振り返っていききたいと思います。

歯科治療の目的は「残存組織の保全と機能回復率の向上の両立」であることをまず確認いたしました。その上で、歯科治療における5つの基本的要素とは以下の5つであることについてお話しいたしました。

すなわち、

1. 細菌感染症である
2. 生活習慣病（多因子疾患）である
3. 慢性疾患である
4. 修復治療は顎機能系である
5. 歯科は外科である（適切な手技と器具器材の選択が大事）

という要素を含むという事実です。

したがって、日常臨床において我々歯科医師はこの中で特に重要である2つの因子

1. 細菌の検査（カリオロジー・ペリオロジー）
2. 力の検査（顎機能検査（筋触診、顎関節触診など））

といった検査をすることが必要不可欠となります。この2つの因子は疾患の進行を左右する因子であるとも言われております。これらに関する検査を行った上で初めて正確な診断を行うことができるのです。

治療における3つの診断とは、

1. 病態診断
2. メカニズムの診断
3. 治療の予後の診断（エンドポイントの設定）

を網羅したものでなければなりません。

その上で歯科治療における4つの局面である、

1. 機能的
2. 審美的
3. 構造力学的
4. 生物学的

をバランスよく満足させる治療を行ってこそはじめて、歯科治療の目的を達成させることができるのです。さらに最新のデンティン・ボンディングの情報について、またレジンコアの優位性について、お話しさせていただきました。

以上が前回お話しした内容です。

●今回の講演内容について

今回は前回よりももう少し掘り下げたお話をさせていただこうと思います。

まず前回のお話の中をもう少し端的にまとめてみます。

歯科治療の目的のなかのこれまでどうしてもないがしろにされてきた部分である残存組織の保全については、

細菌と力の検査をすることから得られるメカニズムの診断、つまりどうしてそういう疾患を引き起こしたのかを推定することで診断されると思います。

歯科における3つの診断の中のメカニズムの診断はつまり残存組織の保全に大きく関与しており力と細菌に関する検査をしっかりと行ってから診断することがとても重要であることがお分かりになると思います。

これまでお話しいたしましたとおり、歯を削らないことは良いことである、もしくは歯への外科的介入を最小限にすることが歯科治療にとって理想である、ということは言うまでもありません。口腔内に加療することなく長年にわたって健康が維持できればそれこそは理想的な「歯科治療」であると思います。

しかし、不幸にも齲蝕になってしまった場合、もしくは再治療を必要としている歯に対してはどのような「最小限の介入(MI)」がもっとも適切だといえるのでしょうか？

齲蝕や再治療をする部位が大きくなっている場合、どのような治療を選択するのがもっとも適切といえるのでしょうか？

レジン充填でよいのか、インレーもしくはオンレーのような治療にするのか、クラウンになるのか。その診断の基準は明らかになっているのでしょうか。

診断治療計画のステージでどういった修復を選択するのかをしっかりと決定していかなければならないのです。

そこで今回のトピックとして現実の歯科臨床でもっとも頻度の高い直接法のコンポジットレジン修復について取り上げたいと考えています。

しっかりと緊密に充填し、なおかつ審美的に治療することは、技術的にそんなに簡単でないことはご承知かと思えます。私たちはこの数年間、世界的に著名な歯科技工士である小野寺保夫氏とともに、わずかな本数のコンポジットレジンで、より審美的な修復を実現するシステムについて試行錯誤を繰り返し、一応の完成点を見いだしました。そこで今回、その考え方と具体的な手技、必要器材などについてお話をさせていただこうと考えております。ランチタイムにはその小野寺氏を迎えてライブデモも行っていただく予定にしています。より少ないステップで安全で審美的な修復を可能とするこの治療方法は今後の臨床を大きく変えていく可能性のあることをご理解いただけると考えています。ぜひご期待下さい。

また接着によって大きく変わった支台歯形成についてもそのコンセプトについてお話させていただこうと思います。

●おわりに

歯科治療の目的は一般医科とは少し意味合いが変わってくると思うのです。すなわち噛めるようになるとか綺麗な歯になるといった機能を回復させることはもちろんなのですが、治療をした部分を含めたお口の中全体が健康なまま長持ちしなければなりません。

そのためにはこれまでのような診査からさらに踏み込んだ力と細菌に対する検査をしなければなりません。そうすることで初めて何故病気になったのかというメカニズムの推定が出来、それが残存組織の保全に繋がると思うのです。

そして再治療をする危険性を少なくさせるのです。もし歯科治療の80%を占めるといわれる一本の歯の治療にこうしたことがしっかりと行われるならば日本人の口腔内はもっともっと良くなるはずですよ。

今回はこうしたことに踏まえて安全に歯を形成する基準、接着治療の一番大きな部分を占めるコンポジットレジン充填の審美的な充填法についての具体的な基準について、お話をします。それらを通じて本来の歯科治療の目的に一步でも近づけるお手伝いができれば幸いです。

日常臨床における適切で安全な最小限の治療とは何か?

—適切な診断とコンポジットレジン修復—

- 講師 西川 義昌 先生
Nishikawa Yoshiaki
- 日時 2006年11月12日(日曜日)
午前9時30分～午後4時00分
- 会場 栄ガスビル 4階会議室
名古屋市中区栄3-15-33
TEL 052-242-7111
- 費用 ¥12,000 (消費税込・昼食を用意させていただきます)
- 定員 60名(先着順)



- ◆ 申込方法 下記申し込み書にご記入の上、
(株)中央歯科産業までFAXにてお申し込み下さい。
なお講習会費は、下記銀行口座にお振込願います。
- ◆ 振込銀行 中京銀行 城北支店 当座預金 No.500-401
口座名義：(株)中央歯科産業
- ◆ お問合せ・お申し込み
株式会社 中央歯科産業 本店
TEL (052)914-6841
FAX (052)914-6898

ラジオCMオンエア継続中!!

2002年5月1日から東海ラジオ(AM1332)で
午前10:10頃放送!! 東海ラジオ アナウンサー
蟹江篤子さんとの唄とトークでのCMで内容は
次のとおりです。

「中央ラジオCM20秒」
BGM:HappyBrthday

是非
お聞き下さい!

♪ NA/ハッピーバースデー トゥーユー
ハッピーバースデー トゥーユー♪

誕生日には歯医者さんへ行きましょう
定期検診で虫歯、歯周病、噛み合わせのチェックなど
人生は楽しく歯と一生のお付き合い
歯科医療をサポートする中央歯科産業です。

AM1332 毎週、月曜のAM10:10「歯お元気ですか」内
愛知県歯科医師会様からの歯の生活情報番組です。

2006年11月12日(日)『西川義昌先生 セミナー』参加申込書

ご芳名 _____ 貴医院名 _____

_____ 様

医院ご住所 _____

〒 _____

TEL () _____ FAX () _____

_____ 担当者名 _____

株式会社 中央歯科産業

本店 〒462-0024
名古屋市中区北區鳩岡二丁目3番15号
TEL052-914-6841(代) FAX052-914-6898

南店 〒458-0847
名古屋市中区南區浦里四丁目1-81番地
TEL052-895-5816 FAX052-895-5826

みかわ店 〒444-0007
岡崎市大平町新寺15番1
TEL0564-65-7215 FAX0564-65-7216